

# かながわ資料ニューズレター

## ～ 催しもののご案内 ～

### ◆神奈川資料ミニ展示「神奈川の御用邸」

○期間：令和元年 6 月 14 日(金)～12 月 11 日(水)

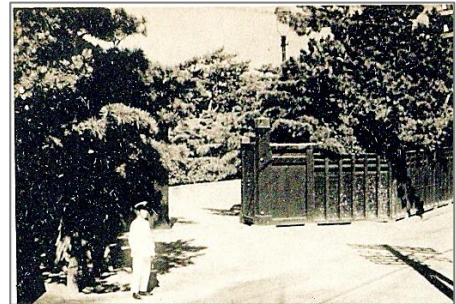
※場所：新館 3 階エレベーターホール

### ◆図書館資料を楽しむ講座

「ラグビーワールドカップ」関連講座(予定)

○日時：令和元年 8 月 18 日(日)14:00～16:00

※詳細は、ホームページにてお知らせします。



『葉山御用邸御警衛記念写真帖』矢野写真館編 1934年[K31.34/1]より「付属邸正門」

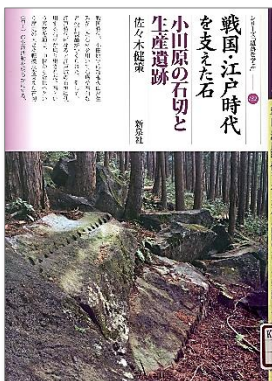


## 新着資料から

### ◆『戦国・江戸時代を支えた石 小田原の石切と生産遺跡 シリーズ「遺跡を学ぶ」 132』

佐々木健策著 新泉社 2019年 [K21.7/50]

近世の西相模地域では、箱根火山の恩恵により、「根府川石」など、石が特産品でした。



本書ではまず、小田原市の「山角町遺跡第IV地点 100号遺構」で発見された、五輪塔や石臼などの未成品から、その高度な加工技術を紹介しています。当遺構は小田原北条氏時代のもので、早川によって運ばれた、箱根中央火口丘の安山岩が大半を占める、と述べています。

次に、江戸城築城のための石材を提供した「早川石丁場群関白沢支群」について解説しています。当遺跡には、今も巨石が山中に点在しており、石を割るための「矢穴」が多数あけられたものや、管理者名や作業単位を示す刻印が施されたものがあり、当時の状況をしのばせている、と述べています。

また、後半には西相模地域の石工の歴史についても触れています。

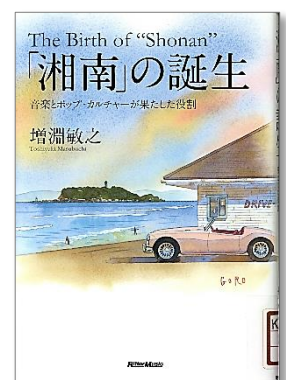
### ◆『「湘南」の誕生 音楽とポップ・カルチャーが果たした役割 The Birth of "Shonan"』

増淵敏之著 リットーミュージック 2019年 [K291/891]

本書は、「湘南」というイメージがどのように形成されていったかということ、文学、音楽、映画、マンガ、アニメなどから多角的に分析しています。

「湘南」の範囲は曖昧であり、一般的な印象と、行政区域や自動車ナンバーなどが設定した範囲では異なっています。そこで、著者はアンケート結果と国道134号線のルートから、「湘南」のエリアを葉山町、逗子市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、大磯町と想定しました。

「湘南」のイメージ形成は、別荘族などの富裕層によって始まります。戦後になると米軍基地の建設などにより、アメリカ西海岸の文化に影響を受けた若年層に広がります。さらにマンガ『湘南爆走族』などに見られる「ヤンキー層」が付加され、その後、地域の生活色が注目されるようになり、「オールマイティなイメージを持っている不思議な空間になった。」と著者は述べています。





## 新着の神奈川資料

新着資料の一部をご紹介します。

タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
北条氏康の家臣団 戦国「関東王国」を支えた一門・家老たち 歴史新書y 081	黒田基樹著	洋泉社	2018	K24.7/178
なぜあの人は輝いているのか 脳が教えてくれる生き方のヒント	蓑宮武夫著	PHP研究所	2019	K28/501
今川氏親と伊勢宗瑞 戦国大名誕生の条件 中世から近世へ	黒田基樹著	平凡社	2019	ホウ/K28.7/144
わたしもじだいのいちぶです 川崎桜本・ハルモニたちがつづった生活史	康潤伊編著	日本評論社	2019	K31.21/133
大仏さまと愛の顕彰碑(モニュメント) ジャヤワルダナ元スリランカ大統領と日本	上坂元一人著	かまくら春秋社	2019	K31.4/57
異議アリ! 市民本位の改革を断行した、商人市長の12年	古谷よしゆき著	PHPエディターズ・グループ	2018	K31.63/26

## 《うちのおたから自慢》

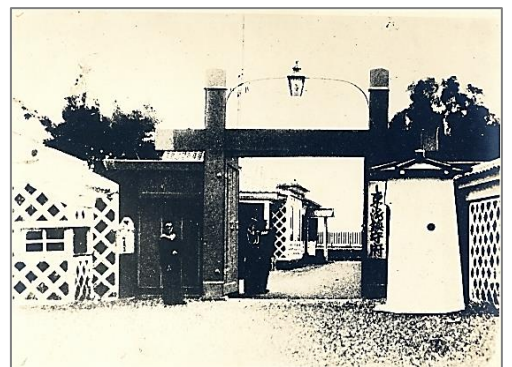
### 「相武聖蹟行幸の趾」

明治天皇相武聖蹟敬仰会編

[K26/23]

「伊勢山離宮」

「東海鎮守府」



『相武聖蹟行幸の趾』は、神奈川県内の「明治天皇聖蹟」の写真集です。明治天皇の行幸における目的地や休憩所、宿泊所などが、昭和8年(1933)から集中的に、史蹟名勝天然記念物保存法(1919年制定)に基づき、聖蹟として文化財に指定されました。しかし、昭和23年(1948)、GHQの指示により、指定は解除されました。

写真右上の「伊勢山離宮」は、明治8年(1875)に現在の西区宮崎町にあった三井組所有の洋館が宮内庁に引き渡され、明治天皇の行幸時の休憩所となったものです。翌年、東奥巡幸の帰路で、宿泊しています。明治14年(1881)には、布哇(ハワイ)国カラカウア皇帝も宿泊しました。「伊勢山離宮」は通称で、明治14年(1881)に「横浜御用邸」と正式に称することになりました。明治18年(1885)に御用邸は廃止され、神奈川県に払い下げられました。

明治17年(1884)年、写真下の「東海鎮守府」(現・中区北仲通)が横須賀へ移ると、翌年、その跡地に横浜御用邸が移転してきます。木造の洋館平屋建てで、敷地は海に面し、浮棧橋もありました。明治天皇は明治26年(1893)まで、当御用邸で休憩や昼食をとっています。明治40年(1907)にはこの御用邸も廃止となり、建物は神奈川県に払い下げられました。

#### 【参考文献】

- ・『明治天皇、横濱へ 宮内省文書が語る地域史』横浜開港資料館編 宮内庁宮内公文書館編 横浜市ふるさと歴史財団 2016年[請求記号: K28.1/619]
- ・『皇室建築 内匠寮の人と作品』内匠寮の人と作品刊行委員会編 浅羽英男ほか著 鈴木博之監修 建築画報社 2005年[請求記号: 521.82/29]
- ・「東京府における明治天皇聖蹟指定と解除の歴史」北原糸子著 『国立歴史民俗博物館研究報告』第121集 国立歴史民俗博物館 2005年[請求記号: Z381/19]



タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号
生きづらさを抱える若者たちと 共に暮らし共に生きる若者支援のリアル	小林 献著 K2 インターナショナルグループ編	いのちのこば社	2018	K36/1248
主婦たちが築いたまちづくり「コスモスの家」の30年	渡辺ひろみ編著	自治体研究社	2018	K36.21/232
カラフルな学校づくり ESD実践と校長マインド	住田昌治著	学文社	2019	K37.1/348
九十歳野菜技術士の軌跡と残照	板木利隆著	創森社	2019	K62.61/12
江ノ電のいる風景	高橋康資著	東京図書出版	2019	K68.4/63
たのしめてるか。湘南ベルマーレ 2018 フロントの戦い 変化・成長湘南の未来 SANNO BOOKS	水谷尚人著 池田タツ著	産業能率大学出版部	2019	K78.62/28/2018
山の上の家 庄野潤三の本	庄野潤三著	夏葉社	2018	K97.21/37

## 📷 かながわ・フォーカス

### [神奈川の祭り ～昭和の記録写真から～]

#### 《お馬流し神事》…横浜市中区（本牧神社）

県指定無形民俗文化財



◆写真撮影日：昭和39年（1964）8月11日 [請求記号：K46]

お馬流しは、茅で作ったお馬を海に流すことで厄神を祓う神事です。社伝によれば、永禄9年（1566）に始まりました。昔は旧暦の6月15日に行なわれましたが、撮影当時は、8月の午後1時頃に満潮になる日が選ばれました。現在は、8月の第1日曜日か第2日曜日に行われています。

お馬は、頭と首が馬で、体が亀の形に作られます。頭部に白幣をさし、口に稲穂をくわえさせ、胴体には神饌と神酒を置きます。お馬の数は、旧本牧の六ヶ村に因んで6体作られます。茅は神社の社有地から採取し、羽鳥家という旧家の当主がお馬を作ります。祭りの前日には、総代が羽鳥家に赴いてお馬を唐櫃にに入れて神社に迎えてくる、お馬迎いの式が行われます。以前は、祭りの当日早朝にお馬を本牧河岸のお仮屋に安置した後、神船へ運んでいましたが、現在は、トラックで漁港まで移動します。お馬をトラックや船へ移す際は、紋付羽織に白足袋の総代や町の代表たちが、頭上から頭上へ渡して運びます。運ぶ時は非常にゆっくりと進みますが、船の20歩ほど手前まで来ると、突然駆け出します。お馬は東京湾の沖合で海に流されます。



【写真1】お馬は、両足を束にして止まる動作を行いながら運ばれる。



【写真2】神船は舳の長く突き出した2隻の和船で、櫂や櫓で漕いで進む。



【写真3】神船2隻は、お馬を3体ずつ乗せ、海に流すと同時に、左廻りに船首を陸の方にまわし、競争を始める。一時期、発動機船1隻に変わり、神船は神社境内に保管されていたが、2013年に復活した。

#### 【参考文献】

- ・『神奈川県文化財図鑑 第3巻 無形文化財・民俗資料篇』神奈川県教育庁社会教育部文化財保護課編 1973年 [請求記号：K06/29/3]
- ・「横浜みなと新聞 第103号 危機乗り越え450回超 本牧神社『お馬流し』 大空襲 米軍の接收 埋め立てで危機」神奈川新聞 2018年7月2日朝刊 15面

## 《かながわ資料／新聞・雑誌室 利用のご案内》

当室では、神奈川県に関する資料や調査のしかたに関するご相談をお受けしています。  
来館もしくは電話・FAX・Eメール・手紙などお気軽にご相談ください。

※Eメールの場合はホームページからお申し込みください。

○開館時間：火曜～金曜日 午前9時～午後7時／土曜・日曜・祝日 午前9時～午後5時

○休館日：毎週月曜日（国民の祝日に当たる場合は開館）・毎月第2木曜日・年末年始等

◎個人への館外貸出は行っていません。著作権法に基づく複写サービスを行っております。

資料によっては、郵送による複写物の送付もできます（有料）。詳細はお問い合わせください。

### ～ 催しもののご案内 ～

雑誌創刊号コレクション展示

◆「コンピュータ雑誌（2） 変わりゆくコンピュータ

－創刊号に見るコンピュータの形状の変遷－」

○期間：平成31年4月12日（金）～令和元年7月10日（水）

※場所：本館1階多目的ルーム前



JR・市営地下鉄線

「桜木町駅」より徒歩10分

京浜急行線

「日ノ出町駅」より徒歩13分

みなとみらい線

「みなとみらい駅」より徒歩20分

横浜市営バス

103系統（横浜駅東口始発）

「戸部1丁目」下車徒歩5分

「桜木町駅前」経由の系統（横浜駅東口始発）

「紅葉坂」下車 徒歩7分

駐車場（有料）

普通車（1台）30分 200円

（最初の15分無料）

神奈川県立図書館 かながわ資料ニュースレター 第69号

令和元年（2019）5月30日 発行

神奈川県立図書館 企画サービス部地域情報課

〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

電話 045-263-5904（かながわ資料／新聞・雑誌室直通）

FAX 045-241-0985

ホームページ <https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県立図書館



※「かながわ資料ニュースレター」は当館ホームページでもご覧いただけます。